



ALT紹介「ハロー アブ」
 今月から鹿ノ台小に来た Abu Bah さん。カナダ出身で日本に来て6年になります。4年～6年の英語活動の時間にお手伝いしていただいています。

生駒山麓公園の自然の中で、フィールドアスレチックや飯ごう炊飯、キャンプファイヤー等、思い出がいっぱいできました。

<楽しかった5年野外活動>



各班の子どもたちや先生の撮った写真の中から選びました。

7月のめあて みんなで使うものを大切にしよう

校内スケッチ 7月



今年になって校内に「皇帝ダリア」が3本植わっています。フローラムさんなどからいただいたものです。2本は観察池の西側に、1本は校門を入ってすぐのところにあります。この植物は今はまだ小さいですが、夏から秋にかけてぐんぐん伸びて3～4mにもなり、11月頃きれいな花を咲かせるそうです。校長室の入口に全体写真と説明が貼っています。とっても楽しみです。



ものあれこれ
ミニミルクピッチャー
 昔々、洛北の下鴨高木町電停前(当時はまだ市電が走っていました)の「すぎやま」という喫茶店によく行って本当に長い間いました。携帯電話のない時代で、私への連絡先は、下宿では

要らなくなった『箒(こと)』を譲ってください。高学年の音楽で練習します。学校までお電話を



給食委員の発表：「食」で大切なこと！

6月中旬から下旬にかけて給食委員のメンバーが、朝の会を利用してすべての学級を回って発表しました。内容は
 ①丈夫な骨をつくろう
 ②夏の野菜を食べよう
 ③返却時の給食委員会からのお願い でした。
 紙芝居を使って、「食」の大切さを低学年にもわかりやすく説明していて好評でした。



花づくりボランティア 花鹿クラブ活動案内

花鹿クラブの皆さんは、正門前を中心に花いっぱい为学校にしようと、毎週水曜日に活動してくださっています。また、環境委員会の子どもたちに苗の植え方や花壇の手入れについていろいろ教えてくださっています。現在15名です。1人月2回程度の活動で毎回すぐに役立つ園芸の知識を深めながら楽しく活動されています。参加してみようかなと思われる方は、学校までご連絡ください。

夏休みの計画。夏休みにしかできないことを！

子どもにとっては待ちに待ったシーズンです。おうちでいろいろな計画されていると思います。家を遠く離れて家族でバカンスも結構ですが、近場であるいはおうちで工夫して普段とは違った過ごし方をしてほしいですね。また、夏祭りやお盆等の日本の伝統的な風習に触れる機会があれば体験させてあげてください。大人にとっては、長い長い夏休みは遠い過去？のことで、子どもは夏休みでも大人はほとんど日常の仕事の連続かも知れませんが、秋までのこの40日余りの期間に何か一つ挑戦してみたいかたがですか。きっとすばらしい思い出の残る夏休みになると思います。子どもと共に成長しましょう。

なくここでした。もう大分前に、うなぎの寝床のような喫茶店はマンションに変わり、店主のおばちゃんも亡くなりましたが、店じまいをする時に記念にもらったのがこのピッチャーです。たまに使うとき、おばちゃんの顔と、昔の京都独特のコクと深みのあるコーヒーを思い出します。おばちゃんありがとう。

始業式の歌→ゲゲゲの女房→のんのんばあとオレ

始業式の歌をもう一度歌って！と低学年の子どもたちから、言われることがあります。始業式では、つらいときは自分の好きな歌を思い出したらいいよと言って、私の子どもの頃の元気回復の歌の「ドンガバチョの歌」(「ひよっこりひょうたん島」より)、そして、失敗を恐れずにがんばろうと言って、「ものしり博士」のケベル先生の歌(何でも考え何でも知ってなんでもかんでも、やってみよう)を歌いました。ところで、ものしり博士の歌を歌っていた熊倉一雄さんは、「ゲゲゲの鬼太郎」の主題歌も歌っていました。NHKの「ゲゲゲの女房」は、「ゲゲゲの鬼太郎」の作者、水木しげるさんの青年時代からの物語ですが、「のんのんばあとオレ」(原作は30年前に出版)という水木しげるさんの少年時代の自伝があります。同名のコミック版が3年前「国際漫画フェスティバル」で最優秀賞に輝きました。水木さんは3歳まで言葉を発せず小学校は1年遅れで入学したそうです。算数が全くできないガキ大将だった作者が、近所に住む ばあやのような「のんのんばあ」が聞かせてくれた行事のいわれや昔話、様々なお化けの話を入れながら、勉強以外の楽しみがいっぱいあった小学生時代を描いています。

